

野分晴れ
さわやかな

昔は台風のことを「野分」と言いました。野の草を分けるように吹く荒々しい風という意味。野分が去った後の晴天は野分晴れ。痛々しい傷跡を残しているとはいえ、そこには光が差し、それを希望の光として人々は何度も立ち上がってきたのです。

野の草を分けるといふように、畑の葱たちにも野分の跡が残っていました。

ゆっくりと訪れた今回の台風、
浸食ほどの被害はながったものの
暴風により倒れてしまいました。
昨日まで青空の下でたくましく
伸びていた葱たちの姿に
思いを馳せます。

お盆に訪れた台風の暴風雨により、美山の方では倒伏被害が発生。時間と手間はかかりますが、葉を痛めないように収穫し、工場での調整作業を経て良いものを届けるよう努めます。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます
ことねぎだより

NO.148

2019年9月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

今月の
ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

台風で倒伏し少し曲がってしまった夏葱

今月お届けするねぎは、先月に引き続き美山・亀岡がメイン圃場に育ったものになります。

6月下旬から7月上旬、梅雨明けに定植した夏葱。今年は昨年と比べ、7月中も気温が上がり過ぎず、雨も定期的に降り、畑の葱たちにとっては良い生育環境でぐんぐんと成長してくれていました。

8月中旬の台風による暴風雨で一部倒れてしまい曲がったものがありますが味には自信あり、夏の旬の味は変わらずです。ぜひご賞味ください。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

防風ネットでの台風対策

今年からの台風対策として、防風ネットを美山の方で設置しました。時間をかけて設置したものの、ネットごと倒される被害が出ている状況。労力を考えると倒されてしまったのはとても残念ですが、もっとここをこうすべきだったのかと糧にできる部分もありました。台風対策は毎年の課題であり、やはり被害は出てしまいます。



台風が訪れる前の空模様
ジリジリとした暑さが照りつける中での作業



そんな中でも、なんとか負けずに育った強いねぎを今月はお届けできています。これからますます台風の脅威が迫ってきますので、大事なねぎを守るようめげずに台風対策を行っていきます！

支柱を立てて大判の網目状のネットを張りましたが、

農人たちに少しでも活力を！

炎天下で痛く感じるほどの陽射し、畑に立つと地熱で湿度の高さを感じる環境の中、農人たちは今日も汗を流し肌を黒くしながら頑張っています。今年もそんな農人たちへエールを送る気持ちとして、会社からアイスを配布！スッと身体が冷えるのは束の間ですが、暑さで火照った身体と疲れた気持ちを癒してくれます。外で食べる農人たちにとっても、よし！と、気持ちを切り替えるスイッチになっています*



外気温でどんどん溶けるほど、ゆっくりは食べてもらえない！

山間地の方は景色も眺めながら

